

❀ 第3回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

- 日 時:第3回 平成29年9月25日(月)19:00~21:00
- 場 所:野母崎文化センター
- 参加者:地域の皆さん 約30人



1 第3回までに話し合ってきた内容

第1回

(7/31)

- ①市から長崎市の**公共施設の現状**(利用状況や老朽化の状況など)や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②野母崎地区の公共施設を使ったときの感想などを出し合った後、施設の現状を踏まえて、**最初に見直す必要がある施設**をグループごとに選び出しました。



第2回

(8/25)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の公共施設の配置の考え方**と、**野母崎地区の公共施設の見直しの方針**をご説明しました。
- ②最初に見直す必要があると考えた施設の使い方、また利用していく上で、どのような問題があるのかなどを確認し、**改善提案**を考えました。



・新しい使い方やアイデア
・実現するための方法

第3回

(9/25)

- ①班ごとに取り上げている対象施設のことだけではなく、**周辺施設と連携**することで解決できることがないか考えました。
- ②前回の改善提案の見直しを行いました。



詳しい内容は、
中面をご覧ください。



2 各班の対象施設への提案

※各班の提案の一部を掲載しています。

1班 軍艦島資料館

第2回

前回の改善提案

- ・今の施設を活用して軍艦島が見えるように整備する
- ・国道からの田の子の入口の整備と各施設間の動線を見直す
- ・物産館の機能を含めた施設の整備



第3回

今回の改善提案

- ・2階の空いている部屋から軍艦島が見えるように工夫する。
- ・資料館内におみやげ屋や休憩所を設ける。

市からの回答と話し合っていたきたいこと

- ・今の施設の2階から軍艦島が見えるようにすること、田の子地区入口の整備や動線の見直しについては、今後の田の子地区全体の施設整備の状況を踏まえながら検討します。
- ・物産館機能を含めた施設の整備について、施設の内容はどのようなものが考えられますか？(場所はどこに？広さは？今の施設はどうするのか？)



＜他の班からの意見・提案＞
軍艦島への眺望は、資料館からにこだわらず、水仙まつりの土手などへの誘導でもよいのでは。

2班 総合運動公園水泳プール

第2回

前回の改善提案

- ・子ども(幼児)が楽しめる水遊び場にする
- ・海との間の道を整備する
- ・プールは解体し、公園として砂浜と一体になったような施設を整備する(シャワーも設置する)



第3回

今回の改善提案

- ・子ども(幼児)が楽しめる水遊び場の整備については、田の子全体の計画を考える中で、整理すべき。
- ・プールを解体したところに施設を建設する際は、軍艦島が見えるよう、景観に配慮した極力低い施設にしてほしい。

市からの回答と話し合っていたきたいこと

- ・野母崎には、高浜と脇岬に海水浴場があります。安全面からも田の子で海水浴を促すことになる施設(シャワーなど)を整備することは適当ではないと考えます。
- ・子ども(幼児)が楽しめる水遊び場としては、砂浜の波打ち際で遊ぶということが考えられないでしょうか？



3班 ふれあい新港

当日は欠席でしたが、別の場で話し合っていました。



第2回

前回の改善提案

- ・高齢者だけのための施設としては廃止する
- ・小さい子どもが使えても中高生が使えないところが多いので、中高生から大人まで使える合宿所にする
- ・公民館が空いていない時、子ども会、キャンプの時などに使える Free House(自由な家)にする

第3回

今回の改善提案

- 市からの回答と話し合っていたきたいこと
- ・ご提案の「やりたいこと」や「使い方(合宿所、子ども会、キャンプなど)」は、今ある施設ではできませんか？
 - ・もし、今ある施設が使いづらいのであれば、何が問題でしょうか？(今の使い方を見直すことで使いやすくなりますか？)



- ・バーベキュー、学校の行事、子ども会での使用、オートキャンプ場などに使用する。
- ・今ある施設は、使用手続きが面倒で、堅苦しい雰囲気なので、もっと気軽に使えるようにする。

<他の班からの意見・提案>
提案のあった「やりたいこと」は公民館などの他の施設で利用できるのでは。

4班 6・7班 野母崎地域センター

第2回

前回の改善提案

- ・各地区の皆さんが集まりやすい田の子地区の旧野母崎福祉保健センターへ移転する
- ・野母崎の情報発信の拠点とする
- ・災害時の拠点とする



- 市からの回答と話し合っていたきたいこと
- ・現段階で田の子地区へ機能の移転を検討する場合、施設を新しく建てるという考えはありません。既存施設を活用することが前提となります。
 - ・田の子に移転すると、集落から離れることになります。今の場所よりも、住民の皆さんにとって良くなる点はどういうものがあるのでしょうか？

第3回

今回の改善提案

- 4班
- ・田の子だけでなく、現在地周辺の施設の活用が考えられないか。
 - ・今の施設をそのまま使い続けるのであれば、使っていない部屋が多いので、民間に貸し出したりする。
- 6班・7班
- ・現在地は波が高いので、防災面から田の子へ移転した方がよい。
 - ・旧野母崎福祉保健センターへ移転することで施設の有効活用になる。
 - ・田の子地区へ移転して、情報発信の拠点とする。



※この対話で出たご意見などを参考に、施設の整備計画は最終的に市で決定していきます。

2 各班の対象施設への提案(つづき)

5班 市営住宅

第2回

前回の改善提案

- ・日当たりがよく、交通の便がよい、商店や学校に近い場所に建てる
- ・若い人が入居しやすい立地となるようにする
- ・集約はせず、各地区に市営住宅を建てる



第3回

今回の改善提案

- 市からの回答と話し合っていたきたいこと
- ・集約建替は、野母崎地区すべての市営住宅を同じ時期に、一斉に建替えるのではなく、段階的に、できるだけまとめて集約していきます。
- ・若い世代が野母崎で新たに住まいを選ぶ際に一番優先する条件は何でしょうか？

- ・高齢化率が高い野母崎の対策として、各地区に若い人の入居できる枠を設ける。
- ・既存の住宅はそのまま残し、新しく建てる方に新しい人を入れる。
- ・新しく建てる候補地は、高浜地区の学校跡地がよいのでは。

長崎市公共施設マネジメントアドバイザーからのアドバイス



前橋工科大学 堤先生

「やりたいこと」をたくさん提案することはとても良いことですが、市の負担が増えるばかりになっていないかが気になります。実現するためには、誰が、どのような運用をするかも考えることが大切です。

中高生の居場所がないという声については、新しく施設の整備をしなくても、既存の公民館を学校の試験期間中は「勉強室」として開放するなど、運用面を工夫することで解決できることもあると思います。

3 次回すること

次回の対話では・・・

3回に渡って議論してきた住民の皆さんからのご提案に対し、長崎市の考え方と方向性をお伝えし、意見の多かった**田の子地区の施設の活用**と活用の**優先順位**などについて検討していただきます。

次回の
予定

19時から野母崎文化センターで開催します♪

第4回 10月27日(金)

お待ちしております。



◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)